

## ◇ 2019年度 第14回年次大会 定期総会のお知らせ

次のスケジュールで第14回大会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

**【大会テーマ】「障害者の「親なき後」と入所施設への期待と課題**

～高齢期にある知的障害者の支援をめぐって～

**【日程】2020年3月14日（土）**

**【場所】聖隷クリストファー大学 5号館 5401教室**

**【プログラム】**

1.「学会研究発表会」 10時～12時 学会会員を中心とする発表会

2.大会 13時30分～15時40分

シンポジウム：「障害者の「親なき後」と入所施設への期待と課題

～高齢期にある知的障害者の支援をめぐって～

趣旨：入所施設への親の期待とともに、施設が抱える現状の課題を確認しながら、知的障害者の支援に、地域でどのような実践が求められているのかを参加者の皆様とともに考える機会とします。

詳しくは別紙チラシをご覧ください。

プログラム／

・問題提起

・トークセッション

小出隆司氏（浜松市浜松手をつなぐ育成会会長）

袴田章彦氏（社会福祉法人昴会「四季の郷」施設長）

上野玲子氏（社会福祉法人慶成会「グリーンヒルズ東山」生活相談員）

・質疑応答

3.学会総会 15時50分～16時20分 業務計画・決算・予算等の決議

4.ティーパーティー 16時30分～17時30分

# 聖隷クリストファー大学

## 聖隷社会福祉学会シンポジウム 2020

### 障害者の「親なき後」と入所施設への期待と課題

#### ～高齢期にある知的障害者の支援をめぐる～

障害者施設入所者の「地域移行」「地域定着」が政策上に標榜されています。その一方で、施設では、入所者の重度化・高齢化とともに家族の高齢化がより顕著であり、政策的な期待に沿うような「地域での暮らし」は実現されていません。障害者支援の大きなテーマである「親なき後」の暮らし方をめぐっても、家族や本人が望む「これまで通りの暮らしの継続」と同時に、施設入所をその選択の一つと考えざるを得ない現実があります。

そのような現状の中で、「地域での暮らし」を支える支援の充実だけではなく、現実的なニーズであり続ける「施設」での暮らしの支援を再考する必要があるのではないのでしょうか。特に、高齢期にあり、身体介護や医療依存度が高くなった知的障害者の施設ケアをめぐるっては、物理的・人的・質的な問題が深刻となっているようです。また、特別養護老人ホーム等の高齢者施設では、行動障害等への対応の難しさから、入所受け入れが進展しない現状があるようです。同時に、実践現場では様々な試行錯誤もなされています。

本シンポジウムは、入所施設への親の期待とともに、施設が抱える現状の課題を確認しながら、知的障害者の支援に、地域でどのような実践が求められているのかを参加者の皆様とともに考える機会とします。

日時／ 2020年3月14日(土) 13:30～15:40 [受付・開場 13:00]

場所／ 聖隷クリストファー大学 5号館 5401教室

対象／ 社会福祉現場で障害者や高齢者の支援にかかわる方・教員・大学院生・大学生・本人・家族・その他関心のある方

プログラム／

・問題提起

・トークセッション

小出隆司氏(浜松市浜松手をつなぐ育成会会長)

袴田章彦氏(社会福祉法人昴会「四季の郷」施設長)

上野玲子氏(社会福祉法人慶生会「グリーンヒルズ東山」生活相談員)

・質疑応答

お問い合わせ／聖隷クリストファー大学社会福祉学会事務局

電話:053-439-1400(社会福祉学部 川向宛)

お申し込み／下記メールアドレス、FAXにてお申し込み下さい

Mail:[shafukugakKai@seirei.ac.jp](mailto:shafukugakKai@seirei.ac.jp)

FAX:053-439-1406(社会福祉学会事務局宛)